

令和4年度

浜松市四大地財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

浜 松 市 監 査 委 員

浜 監 第 57-2 号

令和 5 年 10 月 13 日

浜松市長 中 野 祐 介 様

浜松市監査委員 川 嶋 朗 夫

浜松市監査委員 佐 藤 雅 秀

浜松市監査委員 松 本 康 夫

浜松市監査委員 太 田 利実保

決算の審査意見の提出について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により令和 4 年度四大地財産区特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

令和4年度 浜松市四大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見	5
第1 審査の基準	5
第2 審査の対象	5
第3 審査の期間	5
第4 審査の着眼点及び実施内容	5
第5 審査の結果	5
第6 決算状況	6
1 決算収支	6
2 決算の計数	6
3 歳入	6
4 歳出	7
第7 財産管理の状況	7
1 公有財産	7
2 基金	7

凡 例

本文及び表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 本文及び表中に用いた年度は、原則として元号を省略した。
- 2 本文中に用いた金額は、原則として万円未満を切り捨てて表示した。
- 3 本文及び表中に用いた比率は百分率で、原則として、小数点第2位を四捨五入して表示した。
- 4 表中に用いた金額は、原則として千円未満を切り捨てて表示した。したがって、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 5 各表の資料は、特別会計決算書又は関係部局からの提出物を基に作成した。

令和4年度 浜松市四大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見

第1 審査の基準

この審査は、浜松市監査基準(令和2年浜松市監査委員告示第2号)に準拠して実施した。

第2 審査の対象

令和4年度浜松市四大地財産区特別会計歳入歳出決算

上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第3 審査の期間

令和5年7月3日から同年8月18日まで

第4 審査の着眼点及び実施内容

主に以下の点を着眼点とし、検証した。

- ・ 審査に付された決算書その他関係書類が適正に作成されているか
- ・ 決算書類に記載された計数は正確であるか
- ・ 歳入歳出予算は適正に執行されているか

審査手続については、試査を基礎として行い、会計管理者が所管する諸帳簿と照合し、計数の確認のほか、関係職員から説明を聴取し、予算の執行状況等について審査を行った。

第5 審査の結果

審査に付された浜松市四大地財産区特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に適合し、かつ、その計数はいずれも正確で、歳入歳出予算の執行はおおむね適正であると認められた。

第6 決算状況

1 決算収支

決算収支状況

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	4年度	3年度	増減額	対前年度比
歳入決算額 (A)	54,170	54,086	84	100.2
歳出決算額 (B)	22,658	21,904	753	103.4
歳入歳出差引額 (A)-(B) (C)	31,512	32,181	△ 669	97.9
翌年度へ繰り越す べき財源 (D)	0	0	0	—
実質収支 (C)-(D) (E)	31,512	32,181	△ 669	97.9
前年度実質収支 (F)	32,181	32,678	△ 496	98.5
単年度収支 (E)-(F)	△ 669	△ 496	△ 172	134.9

歳入決算額は5,417万円、歳出決算額は2,265万円となっている。実質収支は、3,151万円の黒字で、3年度に比べて、66万円(2.1%)減少している。また、単年度収支は、66万円の赤字である。

2 決算の計数

令和5年5月31日(出納閉鎖日)現在における歳計現金の在 high は普通預金3,151万円で、4年度の歳入歳出差引額と合致する。

3 歳入

歳入の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	4年度	3年度	増減額	対前年度比
財産収入	21,867	21,407	459	102.1
財産運用収入	21,852	21,397	454	102.1
財産売却収入	15	10	5	150.0
繰越金	32,181	32,678	△ 496	98.5
諸収入	121	0	121	—
合 計	54,170	54,086	84	100.2

歳入は5,417万円で、3年度に比べて、8万円(0.2%)増加している。主として繰越金49万円が減少したものの、財産運用収入45万円及び諸収入12万円の増加によるものである。

4 歳出

歳出の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	4年度	3年度	増 減 額	対前年度比
議 会 費	310	335	△ 24	92.5
議 員 報 酬	211	225	△ 14	93.8
議 長 交 際 費	3	4	△ 1	75.0
一 般 諸 経 費	96	106	△ 9	90.6
総 務 費	22,347	21,569	778	103.6
一 般 管 理 費	1,639	2,338	△ 698	70.1
財 産 管 理 費	20,708	19,230	1,477	107.7
合 計	22,658	21,904	753	103.4

歳出は2,265万円で、3年度に比べて、75万円(3.4%)増加している。主として一般管理費69万円が減少したものの、財産管理費147万円の増加によるものである。

第7 財産管理の状況

財産現在高

区 分			4年度末現在高	3年度末現在高	増 減 高	
公有財産	建 物	面 積 (㎡)	381.75	381.75	0.00	
	山 林	所 有	面 積 (㎡)	1,411,636.83	1,411,636.83	0.00
			立 木 (㎥)	7,620.16	7,514.29	105.87
基金	現 金	積 立 基 金 (千円)	266,940	261,940	5,000	

1 公有財産

(1) 建物

建物の面積は4年度末現在381.75㎡で、3年度末と同じである。

(2) 山林

山林の面積は4年度末現在141万1,636.83㎡で、3年度末と同じである。立木の推定蓄積量は4年度末現在7,620.16㎥で、3年度末に比べて、105.87㎥増加している。これは、自然成長によるものである。

2 基金

四大地財産区基金の現金は4年度末現在2億6,694万円で、3年度末に比べて、500万円増加している。これは元金積立によるものである。